

洞峰公園における民間活力導入に係るマーケットサウンディング調査現地見学会・説明会質疑応答

番号	質疑内容
①	Q 自由な提案を求めるとあるが、今ある機能は必ず残さなければならないのか。
	A 今よりも、魅力向上につながる施設を新たに整備したいということであれば、既存施設の存残は絶対条件ではない。
②	Q プールや体育館を別な施設に変えるような提案もしてよいのか。
	A Q①同様、プールや体育館よりも洞峰公園の魅力向上につながる施設が整備されるという提案であれば問題ない。ただし、撤去の費用が発生することを想定しておいてほしい。
③	Q 駐車場の移設や増設も可能と思って提案してよいのか。
	A 問題ない。
④	Q 占用料・賃料はどのくらいの金額を想定しているのか。
	A 未定。 今後、土地価格の鑑定評価等実施した上で決めることになる。
⑤	Q 都市計画の用途地域変更も提案に含めてよいのか。
	A 用途の変更は、都市計画変更の手続きになるため、必ず変更が実現すると約束できない。また、その手続きには期間も要する。それをご理解いただいた上で提案に含まれているというのは問題ない。あるいは、用途以外の施設を設置する方法として、建築基準法第48条ただし書きに基づく手続きで同意を得る方法もある。
⑥	Q 今回、調査の対象を洞峰公園としたのは何故か。
	A 所管課として、洞峰公園の環境は非常に魅力的と考えている。民活の可能性があるのかを調査したかった。
⑦	Q 設置する施設等は、都市公園法に抵触しない範囲で提案をしなければならないか。
	A 都市公園であるため、設置するものは都市公園施設に該当するものでないといけませんが、そこを深く考えることによってアイデアが限られてしまう可能性もある。事業者側ではダメだと思った施設も、自治体側で捉えた時に都市公園施設に当てはまる施設もあるかもしれないので、今回の調査においてはそこまで深く考えず自由に提案してほしい。
⑧	Q 洞峰沼の水位・水量はどのくらいか。
	A 確認し、後日公表する。 【確認結果】 洞峰沼の平均水位：夏季(7月)86cm、冬季(12月)67cm。 洞峰沼の水量：詳細な水量は不明。面積及び平均水位から推測。 洞峰沼面積(32,175㎡)×夏季と冬季平均水位((0.86+0.67)/2m)=24,613.875㎡
⑨	Q 施設と一体で外構を整備したとして、事業者は外構までを管理するという認識でよいのか。
	A P-PFIを活用する場合は、そのような管理になる。
⑩	Q 野球場の面積・両翼の延長はどのくらいか。
	A 確認し、後日公表する。 【確認結果】 野球場の面積：17,562.65㎡(フェンス内面積：約13,000㎡) 野球場両翼延長：90m(センター延長117m)
⑪	Q 事業期間の最長は20年を想定とあるが、それ以上という可能性もあるのか。
	A 現在のP-PFI制度の最長は20年で一度終了になり、再度公募を行うことになる。
⑫	Q 水道や電気などのインフラは公園の外から引くのか、それとも園内で引くのか。
	A どちらからも可能。ただし、園内で分岐させる場合は、既存の設備で対応可能な使用量が決まっているため、その使用量を超えた仕様・性能等を求める場合は、改修を行う必要がある。